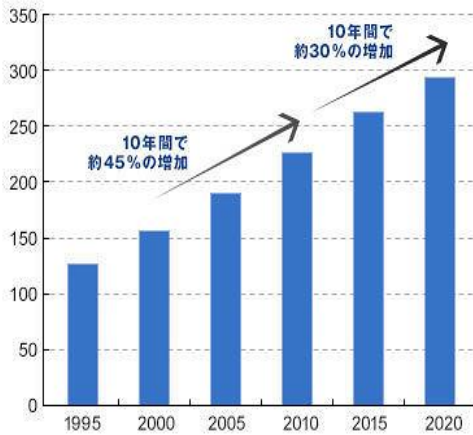


# 認知症トピックス



認知症患者は増加の一途



データ：厚生労働省

日本は「認知症大国」といわれ、2025年には約**700万人**、**5人に1人が認知症になると推定されています**。主な国の65歳以上の認知症有病率を挙げてみますと、

カナダ：7.5%      スイス：1.4%      メキシコ：10.7%



韓国：5%

中国：4.6%

日本：14%



いかに、日本が認知症の方や予備軍と呼ばれる方が多いということが示される数字ではないでしょうか。今後、ますます増加する「認知症」ですが、認知症という病気を、私たちはどれくらい理解しているのでしょうか？

## 認知症 Question



### まずは認知症の病態から

認知症とは「一度発達した認知機能が、脳の器質的疾患により低下し日常生活に支障を来たした状態」です。ここにある「脳の器質的疾患」とは、萎縮や梗塞、出血などにより脳細胞が正常に機能なくなっている状態のことであり、CTやMRなどの検査により判断することが可能です。

### 脳の働きと障害の結びつき

頭の構造から大脳は右の4つの部分に大きく分けられます。そしてそれぞれに重要な役割があり、その部位が障害される事により、認知機能障害が現れてきます。

- ・ **前頭葉**は「脳全体の司令塔」と呼ばれ、体を動かしたり、物事を考えたり、怒ったり、悲しんだりと生活をしていく上で「物事を判断する場所」です。
- ・ **頭頂葉**は体に触れる感覚や、目から見える空間を認識します。
- ・ **後頭葉**は目で見たものを認識・判断する「視覚」を司ります。
- ・ **側頭葉**は耳で聞いたり話したり、また情報や認識したものを記憶する役割があります。



頭のどの部分が障害されているかで症状は変わってきます。そして、その障害は「**中核症状**」と呼ばれ、必ず起こってくる認知機能の障害です。

では、中核症状とは？

これは認知症の診断基準になります。

記憶障害  
新しい事  
を覚えら  
れない

見当識障害  
時間や場所が  
わからない

実行機能障害  
段取りや計画が  
出来ない

失認：空間の位置  
関係がわからない  
失行：服の着方が  
解らない、道具が  
上手く使えない  
失語：言葉が上手  
く出てこない



よく目にする認知  
症の方の症状は？

徘徊したり、家に帰りたいと言ってその場から出て行ってしまふ、不眠や不安感、イライラを表出したり、急に怒りっぽくなったりする症状は「**行動心理症状**」と呼ばれ、中核症状が原因となって起こってくる症状です。

なぜ、そんな症状  
が出てくるの？

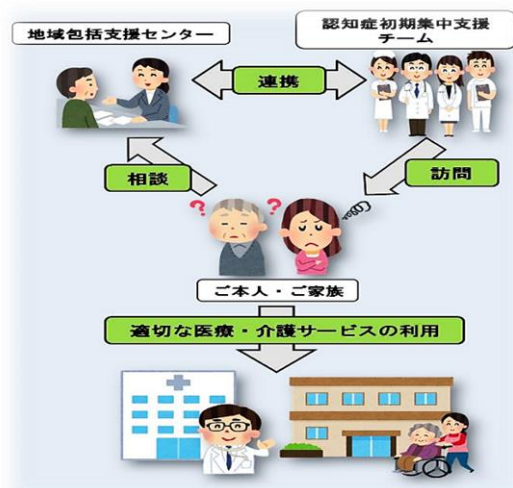
認知機能障害を背景として、嫌な音や光、空間など物理的な環境や不安、孤独、恐れや怒り、ストレスといった社会的環境、また体の調子が悪い、下痢してる、熱がある、痛み、薬の副作用などの要因が加わる事で、起こってきます。

ならば、行動心理症状はすべての人に起こるわけ  
ではないのでしょうか？

その通り！

環境要因が加わる事で生じてくる症状であるため、これらの環境の調整により認知症の行動心理症状を呈することなく、穏やかに過ごすことが出来るのです。

認知症の方と上手くお付き合いをしていく事は、お互いにエネルギーを使います。認知症の方も、周囲で生活する方も穏やかに生活が出来るようになるには、**認知症を患っている方の早期発見と早期支援**が必要となります。



あれ？もしかして認知症かな？

認知症が疑われる方やその家族、医療従事者など、認知症を疑うようなケースを発見された場合は地域包括支援センターに連絡をします。そこで情報を集め、介入の有無を検討し必要であると判断した場合、「認知症初期集中支援チーム」が活動します。チームは複数の専門職が集まり訪問や会議を行い、適切な判断の基、医療機関へ繋げたり、サービスの調整や生活環境の調整を行ったりと、その方が必要とする支援のサポートを行っていきます。

地域みんなが心地良く、暮らせる社会を目指していきましょう